

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	[4720]中山地域公民館活動事業			
予算科目	10 款 5 項 2 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 生涯学習の推進			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	730
記入者情報	所属長:	森田 誠司	担当責任者:	安田 敦
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 23 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	伊予市民			
根拠法令等	社会教育法、伊予市公民館設置条例			
事業の目的	「住民自治能力の向上」を目指して、市民の仲間づくり、健康増進、生きがいづくりに寄与する。			
事業の内容	各種講座や事業の開催、社会教育関係団体との連携、地域・家庭・学校等とのコーディネートを行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	1,804	1,724	1,049	1,659
	人件費	6,681	6,997	3,538	6,997
	合計	0	8,721	4,587	8,656
人件費 内訳	人工数	0.84	0.87	0.44	0.87
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	6,681	6,996	3,538	6,996
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	8,485	8,721	4,587	8,656

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
成人大学	回	5	5	0	5
高齢者学級	回	5	5	1	5
レクバレー交流教室	回	1	1	0	0
青少年健全育成(わんぱく塾)	回	62	62	30	62

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
		1,937	1,930	1,930	1,930	

成果指標				
成果指標	活動回数			
指標設定の考え方	公民館が核となって事業や活動を展開しながら、コーディネート役として、住民や組織が主役の活動を展開する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	73	73	73	0
実績	73	72	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>昨年度、新規で実施したレクバレー交流教室は、関係者等のスケジュール調整が整わず中止となった。運動会等のコミュニティ事業については、準備段階から地域住民に関わってもらい、住民主導の事業となるよう働きかけることができた。地域によっては、住民主導の事業を実施している例もあるため、中山地域全体に広がっていくよう、ノウハウ等の情報提供も含め、更に働きかけていく必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>事業内容については、各地区の公民館運営審議会及び公民館の各部会で協議され、各地域独自の内容となっているが、それぞれの地域のニーズ及び地域課題の解決に向けた活動が展開されており、今後も検討を加えながら継続実施する。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題